



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社カカコム

コード番号 2371 URL <http://corporate.kakaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 畑 彰之介

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員管理本部長 (氏名) 作田 一郎 TEL 03-5725-4554

四半期報告書提出予定日 平成29年2月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	33,249	11.7	15,432	12.3	15,427	11.7	10,735	16.1
28年3月期第3四半期	29,767	15.7	13,743	16.6	13,810	13.6	9,245	20.2

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 10,753百万円 (14.9%) 28年3月期第3四半期 9,356百万円 (21.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	49.34	49.31
28年3月期第3四半期	41.98	41.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	37,129	32,396	86.2
28年3月期	38,903	32,111	81.6

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 31,988百万円 28年3月期 31,739百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	0.00	-	21.00	21.00
29年3月期	-	14.00	-	-	-
29年3月期(予想)	-	-	-	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	9.0	21,000	7.5	21,000	7.2	14,500	10.7	66.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日(平成29年2月2日)公表いたしました「平成29年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年3月期3Q	218,160,100株	28年3月期	219,560,100株
29年3月期3Q	980,525株	28年3月期	1,019,125株
29年3月期3Q	217,577,279株	28年3月期3Q	220,231,391株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記数値とは異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「ユーザー本位の価値あるサービスを創出しつづける」をミッションとして事業展開をしており、幅広いジャンルで事業展開を行っております。創業当時よりサービスを提供している購買支援サイト『価格.com』をはじめ、ランキングとクチコミのグルメサイト『食べログ』など、現在提供しているサービスは20以上あり、各事業それぞれがグループ全体の業績を牽引することで、継続的な成長の実現に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社の事業に関するパソコンやテレビなどのデジタルコンシューマ機器市場は低迷している一方で、消費者向け電子商取引（BtoC-EC）市場規模は平成27年度に13.8兆円と、前年比7.6%増と堅調に増加しており、さらに、小売市場全体に占めるEC化率は4.8%と世界水準から見てもまだ低いため、今後も中期的な成長が期待されます。（※1）

このような環境下、平成28年12月度における当社グループ運営主要サイトの月間利用者数は、購買支援サイト『価格.com』は5,133万人、ランキングとクチコミのグルメサイト『食べログ』は9,346万人となりました。

（※2）当第3四半期連結累計期間における施策として、『価格.com』では価値向上に向けた取り組みとして、ユーザビリティの改善及びコンテンツの拡充を図りました。『食べログ』では、オンライン予約事業を中心とするユーザーインターフェースの改善を行い、2017年1月にはレストランのネット予約サービスを通じた累計予約人数が1,200万人を突破いたしました。また、飲食店向け集客サービスでは、2016年10月にリニューアルをした有料プランの販売を強化してまいりました。新興メディアでは『タイムデザイン』におけるダイナミックパッケージ予約システムの強化を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は33,249百万円（前年同期比11.7%増）、営業利益は15,432百万円（前年同期比12.3%増）、経常利益は15,427百万円（前年同期比11.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,735百万円（前年同期比16.1%増）となりました。

※1 出所：経済産業省「平成27年度我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）報告書」（平成28年6月14日発表）

※2 月間利用者数とは、1ヶ月のうちに運営サイトを訪れたブラウザ数であり、延べ訪問数ではなく、複数回訪問したブラウザも1と数えた場合の正味のブラウザ数となります。また、2016年11月より、モバイル端末のウェブページ多様化に伴い計測ロジックを変更しております。

セグメントの業績（内部取引消去前）は、次のとおりであります。

① インターネット・メディア事業

当第3四半期連結累計期間のインターネット・メディア事業の売上高は、32,573百万円（前年同期比12.4%増）、営業利益は15,336百万円（前年同期比13.6%増）となりました。

[ショッピング業務]

『価格.com』におけるショッピング業務におきましては、デジタルコンシューマ機器の売れ行きが弱含んだものの、ユーザビリティの改善及びコンテンツ強化を図ったこと等により、参加事業者からの手数料収入は前年同期比で増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,868百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

[サービス業務]

『価格.com』におけるサービス業務におきましては、マネー関連事業におけるクレジットカード比較やローン比較の取次ぎが堅調に推移したことに加え、通信事業における海外wi-fiやSIM比較による取次ぎ件数が好調に推移したことから、手数料収入が増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,577百万円（前年同期比14.4%増）となりました。

[広告業務]

『価格.com』における広告業務におきましては、第1四半期連結会計期間は震災の影響等により広告受注が減少し、第2四半期連結会計期間の売上高は前年同期を上回るも、第3四半期連結会計期間はトラフィックの減少等が影響し、前年同期比で広告収入が減少いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,070百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

[食べログ業務]

食べログ業務におきましては、『食べログ』の有料サービスを利用するレストラン及び個人会員の獲得が進み、課金収入が増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,840百万円（前年同期比20.1%増）となりました。

〔新興メディア業務〕

新興メディア業務におきましては、連結子会社㈱タイムデザインにおける宿泊施設の予約件数が増加したこと及び不動産住宅情報サイト『スマイティ』においてコンテンツの強化を図ったことにより、手数料収入が増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,217百万円（前年同期比29.7%増）となりました。

② ファイナンス事業

当第3四半期連結累計期間のファイナンス事業は、連結子会社㈱カカコム・インシュアランスによる保険代理店業務において、2015年10月に火災保険の改定による契約期間の短縮が影響し、昨年の売上が大幅に増加したことから、前年同期比で保険代理店手数料収入が減少いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は678百万円（前年同期比15.0%減）、営業利益は92百万円（前年同期比62.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は37,129百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,774百万円減少いたしました。これは主に法人税等の支払いおよび配当金の支払いにより現金及び預金が2,455百万円減少した一方で、投資その他の資産が581百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債合計は4,733百万円となり、前連結会計年度末と比較し2,059百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が2,180百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は32,396百万円となり、前連結会計年度末と比較し285百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益10,735百万円、自己株式の取得2,999百万円を計上した一方で、剰余金の配当7,628百万円を計上し、自己株式2,776百万円を消却したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ2,455百万円減少し、25,863百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は9,711百万円（前年同期は5,713百万円の収入）となりました。

これは、主として税金等調整前四半期純利益を15,461百万円を計上した一方で、法人税等の支払が6,721百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は1,662百万円（前年同期は1,505百万円の収入）となりました。

これは、主として事業拡大に伴うサーバー等の有形固定資産の取得による支出が298百万円、サーバーで使用するソフトウェアの購入等の無形固定資産の取得による支出が880百万円、投資有価証券の取得による支出が510百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は10,479百万円（前年同期は6,155百万円の支出）となりました。

これは、主として配当金の支払が7,594百万円、自己株式の取得による支出が3,012百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月11日公表の連結業績予想を、最近の業績の動向等を踏まえ、修正しております。

詳細につきましては、本日（平成29年2月2日）公表いたしました「平成29年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、㈱カカコム・フィナンシャルは重要性が乏しくなったため、第1四半期会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は、軽微であります。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,319,130	25,863,592
受取手形及び売掛金	5,764,560	5,644,615
繰延税金資産	367,144	113,447
その他	226,052	481,330
貸倒引当金	△3,202	△1,770
流動資産合計	34,673,685	32,101,214
固定資産		
有形固定資産	855,950	912,956
無形固定資産		
のれん	215,267	196,805
ソフトウェア	1,651,728	1,705,571
その他	111,706	235,646
無形固定資産合計	1,978,702	2,138,023
投資その他の資産		
繰延税金資産	50,458	133,211
その他	1,349,701	1,846,338
貸倒引当金	△4,505	△2,181
投資その他の資産合計	1,395,654	1,977,368
固定資産合計	4,230,306	5,028,348
資産合計	38,903,992	37,129,563
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	3,780,017	1,599,826
賞与引当金	384,694	201,303
役員賞与引当金	—	25,875
その他	2,458,464	2,688,411
流動負債合計	6,623,176	4,515,415
固定負債		
資産除去債務	119,739	140,487
その他	50,060	77,552
固定負債合計	169,799	218,039
負債合計	6,792,975	4,733,455
純資産の部		
株主資本		
資本金	915,984	915,984
資本剰余金	819,037	819,037
利益剰余金	31,894,297	32,123,995
自己株式	△1,984,111	△1,942,420
株主資本合計	31,645,208	31,916,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,810	60,056
為替換算調整勘定	15,127	12,338
その他の包括利益累計額合計	93,938	72,395
新株予約権	188,426	184,860
非支配株主持分	183,442	222,254
純資産合計	32,111,016	32,396,108
負債純資産合計	38,903,992	37,129,563

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）
売上高	29,767,451	33,249,212
売上原価	2,878,131	3,478,506
売上総利益	26,889,319	29,770,705
販売費及び一般管理費	13,146,144	14,338,479
営業利益	13,743,175	15,432,226
営業外収益		
受取利息	13,369	1,543
受取配当金	2,841	3,391
受取分配金	38,459	—
助成金収入	—	4,482
その他	13,154	3,704
営業外収益合計	67,824	13,121
営業外費用		
支払利息	8	—
投資事業組合運用損	—	4,899
株式交付費	298	207
自己株式取得費用	29	12,651
為替差損	263	—
その他	92	40
営業外費用合計	692	17,798
経常利益	13,810,307	15,427,549
特別利益		
投資有価証券売却益	—	34,000
特別利益合計	—	34,000
特別損失		
事業譲渡損	12,340	—
特別損失合計	12,340	—
税金等調整前四半期純利益	13,797,967	15,461,549
法人税、住民税及び事業税	4,374,442	4,494,522
法人税等調整額	171,397	192,374
法人税等合計	4,545,839	4,686,896
四半期純利益	9,252,127	10,774,652
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,129	38,811
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,245,997	10,735,841

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	9,252,127	10,774,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	102,955	△18,754
為替換算調整勘定	1,147	△2,789
その他の包括利益合計	104,103	△21,543
四半期包括利益	9,356,231	10,753,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,350,095	10,714,297
非支配株主に係る四半期包括利益	6,135	38,811

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	10,558,453	11,405,421
売上原価	929,146	1,007,623
売上総利益	9,629,307	10,397,797
販売費及び一般管理費	4,558,041	4,998,826
営業利益	5,071,266	5,398,971
営業外収益		
受取利息	4,005	387
受取分配金	11,632	—
助成金収入	—	4,482
為替差益	131	4,588
その他	8,792	860
営業外収益合計	24,561	10,317
営業外費用		
投資事業組合運用損	—	4,899
その他	—	14
営業外費用合計	—	4,914
経常利益	5,095,827	5,404,374
税金等調整前四半期純利益	5,095,827	5,404,374
法人税、住民税及び事業税	1,559,491	1,505,566
法人税等調整額	155,256	172,666
法人税等合計	1,714,747	1,678,233
四半期純利益	3,381,079	3,726,141
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,130	14,966
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,378,948	3,711,174

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	3,381,079	3,726,141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	106,906	41,788
為替換算調整勘定	737	△2,492
その他の包括利益合計	107,644	39,295
四半期包括利益	3,488,724	3,765,437
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,486,602	3,750,470
非支配株主に係る四半期包括利益	2,121	14,966

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,797,967	15,461,549
減価償却費	736,228	928,622
事業譲渡損益（△は益）	12,340	—
のれん償却額	18,462	18,462
株式報酬費用	36,019	26,253
賞与引当金の増減額（△は減少）	△141,476	△183,391
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	—	25,875
貸倒引当金の増減額（△は減少）	178	△3,756
受取利息	△13,369	△1,543
受取配当金	—	△3,391
支払利息	8	—
受取分配金	△38,459	—
株式交付費	298	207
投資事業組合運用損益（△は益）	—	4,899
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△34,000
売上債権の増減額（△は増加）	△309,934	119,944
たな卸資産の増減額（△は増加）	474	264
仕入債務の増減額（△は減少）	70,633	4,060
未払消費税等の増減額（△は減少）	△519,442	△85,294
未払金の増減額（△は減少）	△69,333	18,678
前受金の増減額（△は減少）	61,663	△12,408
その他	△1,557,259	139,362
小計	12,084,998	16,424,393
利息及び配当金の受取額	17,266	7,912
利息の支払額	△8	—
法人税等の支払額	△6,388,783	△6,721,001
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,713,472	9,711,305
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△166,560	△298,455
無形固定資産の取得による支出	△860,997	△880,949
投資有価証券の取得による支出	△451,066	△510,010
定期預金の払戻による収入	3,000,000	—
投資有価証券の売却による収入	—	35,000
敷金及び保証金の差入による支出	△70,956	△8,169
敷金及び保証金の回収による収入	2,572	35
受取分配金による収入	39,448	—
事業譲渡による収入	12,960	—
その他	△113	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,505,286	△1,662,549
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△19,000	—
短期借入れによる収入	19,000	—
自己株式の処分による収入	299,919	—
自己株式の取得による支出	△3,351,158	△3,012,555
配当金の支払額	△3,517,427	△7,594,199
ストックオプションの行使による収入	413,457	127,398
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,155,209	△10,479,357
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,130	△2,812
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,064,680	△2,433,413
現金及び現金同等物の期首残高	21,772,815	28,319,130
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	—	△22,124
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,837,495	25,863,592

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（自己株式の取得及び自己株式の処分）

当社は平成28年6月15日開催の取締役会に基づき、自己株式1,495,800株の取得を行い、自己株式が2,999,904千円増加しました。また、平成28年8月4日開催の取締役会に基づき、自己株式1,400,000株の消却を行い、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ2,776,200千円減少しました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が32,123,995千円、自己株式が1,942,420千円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	インターネット ・メディア事業	ファイナンス事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	28,969,154	798,296	29,767,451
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,085	5	1,090
計	28,970,239	798,301	29,768,541
セグメント利益	13,497,571	241,964	13,739,535

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	13,739,535
セグメント間取引消去	3,640
四半期連結損益計算書の営業利益	13,743,175

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	インターネット ・メディア事業	ファイナンス事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	32,570,966	678,246	33,249,212
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,138	—	2,138
計	32,573,104	678,246	33,251,350
セグメント利益	15,336,593	92,033	15,428,626

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	15,428,626
セグメント間取引消去	3,600
四半期連結損益計算書の営業利益	15,432,226

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。